

協力：風早活性化協議会

春が来たね！春に成虫（せいちゅう）に出合うトンボたちをしょうかいするね！オオキトンボは卵からかえって、小さな幼虫（ようちゅう）になったところだよ。

独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて作成しています。



春になったらトンボたちは・・・？

春に見られるトンボたち

トンボは、種類（しゅるい）によって春に成虫（せいちゅう）になったり、夏に成虫になったりします。成虫でそのまま冬をすごして春に出てくるトンボもいます。

クロスジギンヤンマ

【大きさ】
8.5cmくらい。

【見られるところ】
少しくらべて、小さなため池が好き。ミカン畑にあるコンクリートでできた水そうや学校のピオトープなどにもいます。

【からだについて】
ギンヤンマににているけど、むねに黒いスジがあります。

【そのほかのとくちょう】
クロスジギンヤンマは、1年に1度だけ成虫になるけど、ギンヤンマは春から秋のうちに2、3回卵から成虫になるよ。



幼虫（ようちゅう）→

写真は羽化（うか）まじかの幼虫で、成虫の翅（はね）になるところが大きくなり、成虫の体の色の黄色がすけて見えます。



シオカラトンボ

大きさは6cmくらい。みんなが知っているトンボ。オスは青白くなるけど、羽化（うか）したてのオスとメスは写真のようにうす茶色をしています。



アオモンイトトンボ

大きさは3cmくらい。小川や田んぼ、ため池でよく見られるイトトンボ。腹（はら）の先にある水色のもようから名前がつけました。



オツネトンボ

大きさは4cmくらい。ヨシが生えたため池で見られます。成虫は冬はかれ木のすき間などですごして、春になると水辺（みずべ）に集まります。

（武智礼央）

クロセセリ



翅（はね）を広げた長さは4cmくらい。黒地に白色のもようがよく目立つチョウです。幼虫が食べる葉はミョウガやハナミョウガで、葉を丸めて巣（す）を作ります。



南の国に多い種類ですが、愛媛県でも2001年に初めて見つかかり、その後いろんなところで見られるようになりました。

（写真：高橋士朗氏（愛蝶会会員）、文：武智礼央）

あのムシは今？！（クロウリハムシ）



ハムシはカブトムシのしんせきで、かたい甲羅（こうら）のような翅（はね）でおおわれているのが特徴（とくちょう）です。キュウリなどウリ科の植物の葉を食べるこの虫は、害虫（がいちゅう）として知られています。冬は建物（たてももの）のかべについているところをよく見ます。4月ごろから動きはじめます。

（文：若山勇太、写真：橋越清一）

鹿島は鳥もおもしろい!

えっとう 越冬する鳥

冬にはわたりのとちゅうで立ちよったヒヨドリのむれや、海水を飲みに来たツグミのむれが見られるよ。



いい湯(ゆ)だなあ～
じゃなくて、いい水場
(みずば)だね!!



【ツグミ】

なかなか海水は飲みにくいんだ



【ビンスイ】

【ジョウビタキ】



【シロハラ】

【アト】

か 狩りをする鳥

おなががすいたなあー
ヒヨドリやツグミが
おいしそう～

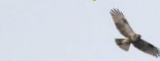


【ハヤブサ】



【ハイタカ】

冬にときどき行くよ



【ノスリ】

おいそうな魚
はいないかなー

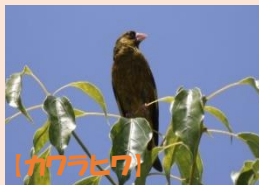


【ミサゴ】

鹿島で繁殖(はんしょく)している鳥は、イソヒヨドリ、ヤマガラ、シジュウカラ、カワラヒワ、キジバト、キビタキ、メジロ、ウグイスなどです。島の面積(めんせき)がせまくえさや水場があまりないので、多くはないんだ。

はんしょく 繁殖している鳥

オオキチくん通信
2022年4月号



【カワラヒワ】



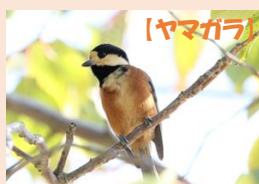
【キジバト】



【コゲラ】



【イソヒヨドリ】



【ヤマガラ】



【キビタキ】



【ゴジュウカラ】
(巢立ちびな)



【メジロ】

草 花 であそぼう!



ナノハナやウメ、サクラの花びらを水にぬらして、つめにはりつけるとマニキュアに! いろんな花びらでちょうせんしよう。

サクラやアズノの花びらを1まいとって4まいにして、くきにおしべをさしたらチョウチョ。ナノハナは花びらが4まいなのでそのままで作ろう。



今月の植物★ホトケノザ

道路や田んぼのあぜに生え、かわいいピンク色の花がさきます。花びらの濃(こ)いピンク色の点は蜜(みつ)をすいに来る虫の目印(めじるし)です。花をそっとひっぱってはずしてねもとをなめるとあまい味がしますよ。

ちょっと
いっぶく

かまだいしどう だいしまつ 鎌大師堂の大師松

腰折山(こしおれやま)のふもとにある鎌大師堂(松山市下難波)に大師松とよばれるクロマツの大木がありました。日本の名松100選(せん)にも選(えら)ばれていましたが、1994年に枯(か)れてしまいました。写真は枯れる2年前の姿(すがた)です。(写真:松井宏光)

そうやったんかい! 外来生物 ③



シロツメクサ

クローバーともいいます。江戸時代に外国からガラス製品(せいひん)を船で運ぶときに、割(わ)れないように干(ほ)した草を間につめていたのですが、その中にまじっていたタネから日本中に広がりました。ときどき四つ葉が見つかります。